

# 寄居町の今とこれから 一般質問

3月定例会の一般質問には、13名の議員が登壇しました。  
質問項目と内容(抜粋)をお知らせします。

この項目について町の考えを聞きました

## まちづくり

ホンダ寄居新工場、周辺整備について(田母神議員)  
エコタウン計画について(津久井議員)  
JR用土駅舎について(津久井議員)  
寄居PAスマートインターチェンジについて(津久井議員)  
エコタウンについて(稲山議員)  
寄居PAスマートインターチェンジとJR用土駅舎等(岡本議員)

## 住民サービス

中央公民館の老朽化への対応について(鈴木議員)  
すぐやる課について(津久井議員)  
デマンド交通について(稲山議員)

## 環境・防災

放射性物質への町の対応について(神田議員)  
放射能汚染から町民を守ることに(田母神議員)  
災害廃棄物受け入れについて(真下議員)  
防災対策について(佐藤議員)  
自転車事故防止対策について(佐藤議員)  
寄居町の安心・安全なまちづくりについて(津久井議員)

## 子ども

発達障害児への支援体制について(鈴木議員)  
教育問題について(津久井議員)

## 観光・農業

寄居町観光再生ビジョンについて(峯岸議員)  
農産物加工施設、絵本と童話の森公園について(大平議員)  
絵本と童話の森公園について(稲山議員)  
農産物加工施設建設について(原口孝議員)  
ホンダ車クラシックカーパレードについて(瀧澤議員)

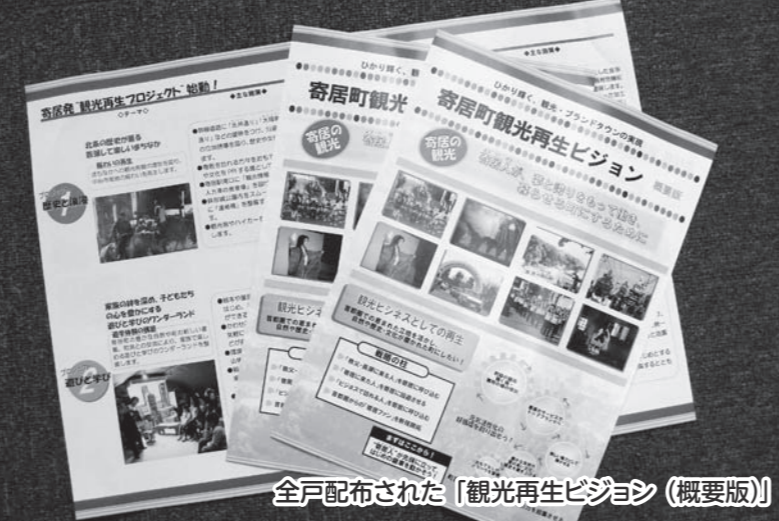
## 町の姿勢・考え

町長の政治理念について(峯岸議員)  
事業の検証について(峯岸議員)  
同和問題終結宣言について(田母神議員)  
タウンミーティングについて(瀧澤議員)  
予算編成、基本的な考え方について(原口昇議員)  
鉢形城跡整備事業について(大平議員)  
安らぎとあたたかなふれあいのまち(原口昇議員)  
心地よい生活が実感できるまち(原口昇議員)

※1人1項目を要約して掲載。全文は会議録を「らんくささい」。会議録は印刷でき次第、町立図書館で読むことができます。



学校給食の放射線量測定は4月から



全戸配布された「観光再生ビジョン(概要版)」



お茶やジュースなどの農産物加工品

## 農産物加工施設の規模や特色は



答弁⇒ 地元農産物を中心とした製造・販売です

問 農産物加工施設の建設場所、面積、施設の規模、特色を伺います。

答 場所は折原の運動公園周辺で、敷地面積は約2000平方メートル、施設規模は100坪(約330平方メートル)、特色はみかんや梅・エキナセア等の地元農産物を中心とした加工品の製造・販売等を行います。

問 地元農産物の加工品目と高付加価値化の目指すところについて伺います。

答 地域食材を加工することで、広く食生活で利用いただける製品を生み出し、利益率が上がるようにしたいと考えています。

問 加工品販売・飲食と集客について伺います。

答 目的は農産物の加工です。相乗効果を高めるため、アンテナショップ☑として若干の販売、飲食スペースを配置します。

問 農産物加工施設の名称と運営方法は。

答 農産物加工施設の施設名は未定ですが、愛称は今後公募したいと考えています。運営には、NPO法人を設立したいと考えています。

## 「絵本と童話の森公園」との関連は

問 農産物加工施設と連携した「絵本と童話の森公園」について伺います。

答 調査測量・基本調査業務委託料を予算計上しましたが、具体的な内容は示していません。

問 観光施設としての農産物加工施設や絵本と童話の森公園の将来像について伺います。

答 良好な立地環境に鑑み、相乗効果によりさらに施設の魅力が増し、地域の活性化に結びつくと考えています。

## 寄居町観光再生ビジョン、全戸配布の意図は



答弁⇒ 今後の展開にご支援・ご協力をいただきたいためです

問 ひかり輝く、観光・ブランドタウンの実現を目指して、昨年「寄居町観光再生ビジョン」が作成されました。その概要版を全戸配布した意図は何ですか。

答 町民の皆様のご意見等を伺いながら作成したものであり、その概要を報告するとともに、今後の事業展開にご支援、ご協力をいただくために配布しました。

問 観光再生ビジョンは多岐にわたる分野、多くの事業を含んでいます。これらすべてを行わなければ再生につながらないと思う理由を伺います。

答 事業は、すべて実施したいと考えています。すべて実施しなければ再生しないということではなく、展望・方針として常に意識しながら、年度計画を立てて、今後5年間に行うべきものは後期計画に盛り込み、まちづくりを進めていきたいと考えています。

## 「寄居観光クリエイション」とは

問 これだけの事業を運営するには、その主体となる組織が必要だと思います。それが平成24年度に創設するNPO法人☑寄居観光クリエイションだと思いますが、その構成や財源をどのように考えていますか。

答 今後、町の観光振興にご尽力いただいている団体に呼びかけて、組織を構成していきたいと考えています。組織をNPO法人化することにより、収益事業も可能になるので、自主財源の確保にも努めていくよう指導していきたいと考えています。

## 震災がれきの受け入れ、町の考えは



答弁⇒ 県から要請があれば対応していきます

問 震災がれきの受け入れに関して、当町としてどのような考えなのか伺います。

答 埼玉県から正式にがれき受け入れの要請があれば真摯に受けとめ、説明を聞いた上で、町議会及び地元協議会と連携を図り、慎重に対応していきたいと思えます。

## 三ヶ山埋立地の放射能、現状把握は

問 埼玉県環境整備センター(三ヶ山埋立地)の放射能濃度等の現状把握について伺います。

答 埼玉県環境整備センターでは焼却灰等を搬入している関係団体に対し、放射能濃度の測定と報告を求めています。4月からは搬入団体に対して4半期ごとの測定と報告を義務づけます。また、翌年度の搬入希望団体の立ち入り検査でも、放射能濃度の測定を行いました。測定結果は1キログラム当たり1100ベクレルで、国の基準(1キログラム当たり8000ベクレル)を下回っています。

問 彩の国資源循環工場内の空間放射線量調査は、工場内でどう測定していますか。

答 該当事業者がそれぞれの工場内の廃棄物保管場所から1メートル離れた場所の高さ1メートルの位置で測定しています。

問 学校給食の放射線量については、毎食分を1週間まとめて測定し、結果を公表すると所信表明にありますが、詳細を伺います。

答 給食の安全性を確認するため、4月から提供食の丸ごと測定を行います。精密な検査機器を持つ専門業者に計測を依頼し、検出下限限界値は、1キログラム当たり10ベクレルとします。

## 放射性物質